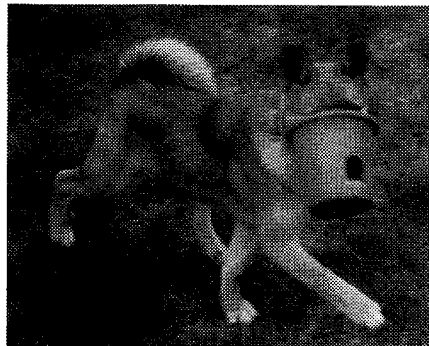




SHIN 吉俣 シン
(旧名ヨギ) 7月6日、家に着くなり「何年も前から家にいるようね」というくらい庭中を駆け廻り、手当たり次第噛みついて花壇の土を掘り起こしイタヅラの限りをつくし、淋しい顔一つせず私達を安心させました。体重も1キロ増えて5キロになり、元気に我家の子



になり切っています。(あんまりオイタをしてクレヨンイシンちゃんなんてあだながついたら困でしよ、吉俣シン君?)

Happy Homes

More than 660 stray animals have been rehomed through our Adoption Programme. The following are a selection of those now in Happy and Loving New Homes.

アークで保護され里親制度を通じて新しい家庭に迎えられた動物は、過去7年間で660匹以上に上ります。お便りをいただいた里親の方からは、どれも幸せいっぱい動物とその家族の方々の写真が添えられています。ほんの一部をみなさんにご紹介いたします。



NEPTUNE

浜田 ネプチューン

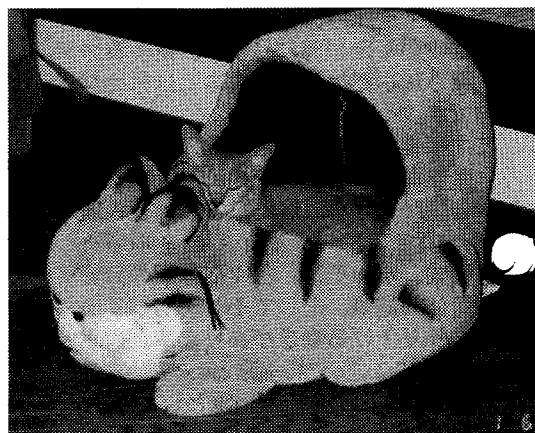
お姉ちゃん達とボクとどっちがデッカイか顔くらべ。(今にネプチューンの方がずっと大きくなるかもね。

美女に挟まれて海神さま〔ネプチューン=ローマ神話の神様の名前〕もご満悦。)



ABBY 水谷 アビー (旧名ピンキー) →

最初はクシャミがひどくて心配しましたが、今ではとても元気、少しやんちゃですがすごく甘えん坊で淋しがりや、本当にSweetなアビーちゃんです。私達のかげがえのない家族の一員です。(ステキなベッドを買ってもらって幸せ一杯のアビーちゃん、時間が出来たらぜひ顔を見に行きたいです。)



↑ FU

原田 フー

アークへ送る写真を撮るっていうもんでお行儀よくしているところ見せないやネ。お父さんは足なんか組んんじやってリラックスしているけど。(フー君、そんなに緊張しなくていいんだヨ。)



HINAKO 門永 ヒナコ

ヒナコの里親になって2ヶ月近くたちました。新居にきて初めてひとりで留守番させた日、ヒナコは囲いをくぐり抜けて脱走してしまいましたが、近所の方が預って下さっていました。初めにヒナコを連れてご近所に挨拶しておいて良かったとつくづく思いました。(迷子にならなくて本当によかったね、ヒナコちゃん。やはり近所付き合いは大切ですね。)